

島根県の経済動向

平成29年1月分

政策企画局統計調査課

一 島根県の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、引き続き緩やかな持ち直しの動きとなっており、生産活動は振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は緩やかな改善の動きが続いている。個人消費は持ち直しの動きがみられる。投資動向は持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。

生産活動	⇨	～持ち直しの動き～	鉱工業生産指数(季節調整済指数)は119.0で前月比で4.0%上昇し、前年比は4.0%と6か月連続で上回った。生産活動は、振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。
雇用情勢	⇨	～緩やかな改善の動き～	雇用面は、有効求人倍率は1.53倍で前月を0.01ポイント上回り、新規求人数は▲6.4%と3か月ぶりに前年を下回った。所掲面は、現業給与総額は0.0%と前年と同水準、きまって支給する給与は1.0%と13か月連続で前年を上回った。
個人消費	⇨	～持ち直しの動き～	雇用面、所得面とも、緩やかな改善の動きが続いている。 百貨店・スーパー販売額は2.4%と4か月連続で前年を上回った。ホームセンター販売額は▲1.9%と4か月ぶりに、家電大型専門店販売額は▲4.4%と3か月連続で前年を下回った。新車登録台数は2.5%と6か月連続で前年を上回った。
投資動向	⇨	～持ち直しに弱い動き～	個人消費は、持ち直しの動きがみられる。 建築工床面積(非居住用)は▲31.7%と4か月連続で前年を下回り、公共工事請負金額は14.2%と4か月ぶりに前年を上回った。新設住宅着工戸数は▲15.9%と2か月連続で前年を下回った。
企業倒産	⇨	～倒産件数0件～	投資動向は、持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。 企業倒産件数は0件。
金融情勢	⇨	～貸出金利高は、対前年4.4%増～	銀行預金残高は2か月連続で前年を上回った。 銀行貸出金利高は7か月連続で前年を上回った。
物価	⇨	～前年同月と同水準～	消費者物価指数(生鮮食品を除く総合指数)は99.4となり、前年同月と同水準となった。
その他(参考)			島根県景気動向指数(CI)(平成29年4月6日公表) 法人企業景気予測調査結果(平成29年3月13日公表) 1. CI先行指数は86.9となり、2か月連続の上昇となった。 CI一致指数は109.1となり、4か月ぶりに前年を下回った。 財務省松江財務経済研究所が公表した現状(29年1～3月期)の景況判断Bは、▲21.5%ポイントと「下降」超に転じている。 28年度の設備投資計画は、前年比10.4%の増加見込みとなっている。(製造業4.2%、非製造業29.9%)

経済指標	前年同月比(%)											
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	ただし*は除く。					
生産活動	117.7	114.2	114.3	116.6	114.4	119.0						
雇用情勢	7.1	▲3.0	0.1	2.0	▲1.9	4.0						
個人消費	1.48	1.48	1.49	1.51	1.52	1.53						
投資動向	17.4	5.1	▲7.4	19.7	7.4	▲6.4						
企業倒産	0.0	▲0.4	0.3	0.3	1.1	1.3						
金融情勢	4.3	4.8	4.2	1.7	6.4	0.0						
物価	5.2	5.5	4.2	4.2	3.6	1.0						
その他	▲9.5	▲11.2	▲7.7	▲3.2	▲10.8	▲1.0						
生産活動	▲2.3	▲3.0	1.3	0.0	0.4	2.4						
雇用情勢	▲2.8	▲3.1	2.6	3.4	2.8	▲1.9						
個人消費	▲18.3	1.6	6.7	▲4.2	▲2.4	▲4.4						
投資動向	20.8	1.1	4.7	3.9	10.1	2.5						
企業倒産	5	6	2	2	3	0						
金融情勢	456	125	309	183	165	0						
物価	0.7	1.8	1.4	▲0.3	1.8	0.6						
その他	4.0	4.0	4.4	4.1	4.7	4.4						
生産活動	99.6	99.3	99.5	99.3	99.4	99.4						
雇用情勢	61.7	59.7	69.3	82.7	83.0	86.9						
個人消費	120.7	109.1	114.2	112.5	115.4	109.1						

経済動向に関する他機関の公表資料(抜粋)

全国	「1月例経済報告(内閣府)」平成29年3月23日 景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。 ・個人消費は、総じて持ち直しの動きがみられる。 ・設備投資は、持ち直しの動きがみられる。 ・輸出は、持ち直している。 ・生産は、持ち直している。 ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、緩やかに改善している。 ・消費者物価は、横ばいとなっている。 先行きについては、雇用・所得環境の改善が緩やかなで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。
中国地方	「中国地域の経済動向(中国経済産業局)」平成29年3月9日 ～持ち直している～ 中国地域の経済は、生産、個人消費は緩やかな持ち直しの動き、雇用や設備投資に良い動きがみられ、持ち直している。 1. 生産動向 ……緩やかな持ち直しの動き 2. 景況感 ……現状、先行きともに上昇 3. 個人消費 ……緩やかな持ち直しの動き 4. 雇用・賃金 ……有効求人倍率は横ばい、賃金は減少 5. 設備投資 ……前年度を上回る見込み 6. 建設動向 ……公共工事は増加、住宅建設は減少 7. 企業倒産 ……件数、負債額ともに増加 8. 貿易 ……輸出は減少、輸入は増加
山陰地方	「山陰の金融経済動向(日本銀行松江支店)」2017年4月3日 山陰の景気は、基調としては緩やかな回復が続いている。最終需要をみると、個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、雇用、所得環境の着実な改善を背景に、全体としては底堅く推移している。住宅投資は、持ち直しの動きが続いている。設備投資は、企業収益が高めの水準で推移するも、増加基調にある。公共投資は、持ち直している。こうした需要動向のもとで、生産は、高水準で推移している。この間、企業の業況判断は、製造業には前向きさがみられる一方、非製造業を中心に全体では慎重さも窺われる。 ・個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、全体としては底堅く推移している。 ・住宅投資は、持ち直しの動きが続いている。 ・設備投資は、企業収益が高めの水準で推移するも、増加基調にある。 ・公共投資は、持ち直している。 ・生産は、高水準で推移している。 ・雇用・所得環境は、着実に改善している。
島根県	「山陰経済動向(山陰経済経営研究所)」2017年3月31日 生産活動が一進一退で推移し、設備投資の増勢も同様ではないものの、個人消費の一部では持ち直しの動きもみられ、雇用情勢が改善傾向にあるなど、基調としては緩やかに持ち直している。 ・公共投資は、持ち直しの動きがみられる。 ・設備投資は、2016年度は前年度を上回る見込みであり、2017年度は一転して前年度を下回る計画(企業動向調査3月の至産業設備投資額は、2016年度比53.2%増、2017年度計画同26.7%減)。 ・住宅建設は、持ち直しの動きに陰りがみられる。 ・個人消費は、一部では持ち直しの動きもみられる。 ・生産は、業種間での好不調の差などによる振れがみられるものの、総じて横ばい圏内で推移している。 ・雇用情勢は、緩やかに改善している。 ・企業の業況判断は、足元(2016年下期)、製造業、非製造業ともに改善し、全産業でも改善となった(▲12.7→▲5.2)。先行き(2017年度上期)は、製造業が改善、非製造業が悪化を見込んでおり、全産業で悪化の見通し(企業動向調査3月)。 県内経済は、緩やかに持ち直している。 ・個人消費 持ち直しの動きが続いている ・生産活動 引き続き持ち直している ・雇用情勢 改善している ・公共事業 前年度を下回る ・設備投資 28年度は増加見込み ・企業収益 28年度は減益見込み

島根県の経済動向

平成29年2月分

調査統計局企画政策

一 島根県の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、引き継ぎ緩やかな持ち直しの動きとなつている。
生産活動は振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は緩やかな改善の動きが続いている。個人消費は持ち直しの動きがみられる。投資動向は持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。

生産活動	⇨	～持ち直しの動き～	鉱工業生産指数(季節調整済指数)は118.3で前月比0.6%低下し、前年比は0.5%と7か月連続で上回った。 生産活動は、振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。
雇用情勢	⇨	～緩やかな改善の動き～	雇用面は、有効求人倍率は1.54倍で前月を0.01ポイント上回り、新規求人数は14.9%と2か月ぶりに前年を上回った。所得面は、現金給与総額は▲1.8%と15か月ぶりに、きまつて支給する給与は▲1.4%と14か月ぶりに前年を下回った。
個人消費	⇨	～持ち直しの動き～	雇用面、所得面とも、緩やかな改善の動きが続いている。 百貨店・スーパー販売額は▲4.6%と5か月ぶりに前年を下回った。ホームセンター販売額は0.4%と2か月ぶりに前年を上回り、家電大型専門店販売額は▲1.1%と4か月連続で前年を下回った。新車登録台数は6.0%と7か月連続で前年を上回った。
投資動向	⇨	～持ち直しに弱い動き～	建設着工床面積(非居住用)は3.1%と5か月ぶりに、公共工事着工床面積は137.7%と2か月連続で、新設住宅着工戸数は2.0%と3か月ぶりに前年を上回った。
企業倒産	⇨	～倒産件数5件～	投資動向は、持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。 企業倒産件数は5件。(小売業1件、不動産業1件、サービス業他3件)
金融情勢	⇨	～貸出金利高は対前年4.8%増～	銀行預金残高は3か月連続で前年を上回った。 銀行貸出金利高は78か月連続で前年を上回った。
物価	⇨	～対前年0.2%下落～	消費者物価指数(生鮮食品を除く総合指数)は99.0となり、前年比は0.2%下落となった。
その他(参考)			島根県景気動向指数(GI)(平成29年5月1日公表) 法人企業景気予測調査結果(平成29年3月13日公表) C1先行指数は98.2となり、5か月連続の上昇となった。 C1一致指数は103.5となり、2か月連続の下落となった。 財務省松江財務事務所が公表した現状(29年1～3月期)の景況判断B1は、▲21.5%ポイントと「下落」超に転じている。 28年度の設備投資計画は、前年度比10.4%の増加見込みとなっている。(製造業 4.2%、非製造業 29.9%)

経済指標	前年同月比(%)						ただし*は除く。
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
生産活動	114.2	114.3	116.6	114.4	119.0	118.3	
雇用情勢	▲3.0	▲0.1	2.0	▲1.9	4.0	▲0.6	
個人消費	3.2	1.1	6.7	3.0	4.0	0.5	
投資動向	1.48	1.49	1.51	1.52	1.53	1.54	
企業倒産	5.1	▲7.4	19.7	7.4	▲6.4	14.8	
金融情勢	▲0.4	0.3	0.3	1.1	1.3	1.7	
物価	4.8	4.2	1.7	6.4	0.0	▲1.8	
その他	5.5	4.2	4.2	3.6	1.0	▲1.4	
景気動向	▲11.2	▲7.7	▲3.2	▲10.8	▲1.0	▲12.5	
先行指数	3.0	1.3	0.0	0.4	2.4	▲4.6	
一致指数	▲3.1	2.6	3.4	2.8	▲1.4	0.4	
家電大型専門店販売	1.6	6.7	▲4.2	▲2.4	▲4.4	▲1.1	
乗用車新車登録台数	1.1	4.7	3.9	10.1	2.5	6.0	
出雲空港利用者数	3.5	5.7	10.0	7.4	3.9	▲0.7	
建設着工床面積(非居住用)	57.4	▲64.7	▲78.0	▲62.5	▲31.7	3.1	
公共工事請負戸数	15.4	▲24.5	▲46.8	▲11.8	14.2	137.7	
新設住宅着工戸数	6.0	17.7	69.8	▲42.9	▲15.9	2.0	
企業倒産	3	2	2	3	0	5	
負債総額	125	309	183	165	0	256	
銀行預金残高	1.8	1.4	▲0.3	1.8	0.6	1.7	
銀行貸出金利高	4.0	4.4	4.1	4.7	4.4	4.8	
消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)	99.3	99.5	99.3	99.4	99.4	99.0	
景気動向指数(GI先行指数)	59.7	69.3	82.7	83.0	86.9	98.2	
景気動向指数(CI一致指数)	109.1	114.2	112.5	115.4	109.1	103.5	

経済動向に関する他機関の公表資料(抜粋)

全国	「月例経済報告(内閣府)」平成29年4月20日 景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。 個人消費は、持ち直しが続き、設備投資は、持ち直しの動きがみられる。 輸出は、持ち直している。 生産は、持ち直している。 企業収益は、改善している。企業の業況判断は、改善している。 雇用情勢は、緩やかな回復が続いている。 先行者物価は、緩やかな回復が続いている。 消費者については、雇用・所得環境の改善が緩やかなが、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の暴落の影響に留意する必要がある。
中国地方	「中国地域の経済動向(中国経済産業局)」平成29年4月12日 ～持ち直している～ 中国地域の経済は、生産は持ち直しの動き、個人消費は緩やかな持ち直しの動き、雇用や設備投資に良い動きがみられ、持ち直している。 1. 生産動向 ……持ち直しの動き 2. 景況感 ……現状、先行きともに低下 3. 個人消費 ……緩やかな持ち直しの動き 4. 雇用・賃金 ……有効求人倍率は低下、賃金は増加 5. 設備投資 ……前年度を上回る見込み 6. 建設動向 ……公共工事、住宅建設ともに増加 7. 企業倒産 ……件数、負債額ともに減少 8. 貿易 ……輸出、輸入ともに増加
山陰地方	「山陰の金融経済動向(日本銀行松江支店)」2017年4月3日 山陰の景気は、基調としては緩やかな回復が続いている。最終需要をみると、個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、全体としては底堅く推移している。住宅投資は、持ち直しの動きが続いている。設備投資は、企業収益が高めの水準で推移するも、増加基調にある。公共投資は、持ち直している。こうした需要動向のもとで、生産は、高水準で推移している。この間、企業の業況判断は、製造業には前向きさがみられる一方、非製造業を中心に全体では慎重さも窺われる。 個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、全体としては底堅く推移している。 住宅投資は、持ち直しの動きが続いている。 設備投資は、企業収益が高めの水準で推移するも、増加基調にある。 公共投資は、持ち直している。 生産は、高水準で推移している。 雇用・所得環境は、着実に改善している。
島根県	「山陰経済動向(山陰経済経営研究所)」2017年3月31日 生産活動が一進一退で推移し、設備投資の増勢も一掃ではないものの、個人消費の一部では持ち直しの動きもみられ、雇用情勢が改善傾向にあるなど、基調としては緩やかに持ち直している。 公共投資は、持ち直しの動きがみられる。 設備投資は、2016年度は前年度を上回る見込みであり、2017年度は一転して前年度を下回る計画(企業動向調査3月の至産業設備投資額は、2016年度見込み前年度比53.2%増、2017年度計画同26.7%減)。 住宅建設は、持ち直しの動きに陰りがみられる。 個人消費は、一部では持ち直しの動きもみられる。 生産は、業種間での好不調の差などによる振れがみられるものの、総じて横ばい圏内で推移している。 雇用情勢は、緩やかに改善している。 企業の業況判断は、足元(2016年下期)、製造業、非製造業ともに改善し、全産業でも改善となった(▲12.2→▲5.2)。先行き(2017年度上期)は、製造業が改善、非製造業が悪化を見込んでおり、全産業で顕化の見通し(企業動向調査3月)。 「島根県の経済情勢(財務省松江財務事務所)」平成29年4月26日(四半期ごと)に公表 県内経済は、緩やかに持ち直している。 個人消費 持ち直しの動きが続いている 生産活動 緩やかに回復しつつある 雇用情勢 改善しており、人手不足感が広がっている 公共事業 前年度を上回る 設備投資 28年度は増加見込み 企業収益 28年度は減収見込み

島根県の経済動向

平成 2 9 年 3 月 分

政策企画局統計調査課

一島根県の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、引き続き緩やかな持ち直しの動きとなっている。
生産活動は振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は緩やかな改善の動きが続いている。個人消費は持ち直しの動きがみられる。投資動向は持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。

生産活動	↑ 持ち直しの動き ～ 持ち直しの動き	<p>工場生産生産指数(季節調整済指数)は120.0で前月比で1.5%上昇し、前年比は3.6%と8か月連続で上昇した。</p> <p>生産活動は、振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。</p>
雇用情勢	↑ 緩やかな改善の動き	<p>雇用面は、有効求人倍率は1.58倍で前月を0.04ポイント上回り、新規求人倍率は10.7%と2か月連続で前年を上回った。所帯では、現金給与総額は0.1%と3か月ぶりに前年を上回り、きままって支給する給与は▲0.1%と2か月連続で前年を下回った。</p> <p>雇用面、所得面とも、緩やかな改善の動きが続いている。</p>
個人消費	↑ 持ち直しの動き	<p>百貨店・スーパー販売額は0.9%と2か月ぶりに前年を上回った。ホームセンター販売額は▲0.5%と2か月ぶりに前年を下回り、家電大型専門店販売額は2.4%と5か月ぶりに前年を上回った。新車登録台数は12.6%と8か月連続で前年を上回った。</p> <p>個人消費は、持ち直しの動きがみられる。</p>
投資動向	↑ 持ち直しの動き ～ 持ち直しの動き	<p>建築着工床面積(非居住用)は14.2%と2か月連続で、公共工事着工金額は30.2%と3か月連続で前年を上回り、新設住宅着工戸数は▲32.7%と2か月ぶりに前年を下回った。</p> <p>投資動向は、持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。</p>
企業倒産	↑ 倒産件数3件	<p>企業倒産件数は3件。(製造業2件、サービス業1件)</p>
金融情勢	↑ 貸出金利高は前年5.3%増	<p>銀行預金残高は4か月連続で前年を上回った。 銀行貸出金利高は79か月連続で前年を上回った。</p>
物価	↑ 対前年0.4%下落	<p>消費者物価指数(生鮮食品を除く総合指数)は99.1となり、前年比は0.4%下落となった。</p>
その他(参考)		<p>島根県景気動向指数(CI) (平成29年6月2日公表) 法人企業景気予測調査結果 (平成29年3月13日公表)</p>

経済指標	前年同月比(%)					ただし*は除く。
	10月	11月	12月	1月	2月	
生産活動	117.0	118.4	116.8	116.6	118.2	120.0
*	0.8	1.2	▲1.4	▲0.2	1.4	1.5
〃	2.4	8.1	3.0	4.3	0.5	3.6
雇用情勢	1.49	1.51	1.52	1.53	1.54	1.58
*	▲7.4	19.7	7.4	▲6.4	14.8	10.7
〃	0.3	0.3	1.1	1.3	1.7	2.1
〃	4.2	1.7	6.4	0.0	▲1.8	0.1
〃	4.2	4.2	3.6	1.0	▲1.4	▲0.1
〃	▲7.7	▲3.2	▲10.8	▲1.0	▲12.5	▲5.5
〃	1.3	0.0	0.4	2.4	▲4.6	0.9
〃	2.6	3.4	2.8	▲1.4	3.7	▲0.5
〃	6.7	▲4.2	▲2.4	▲4.4	▲1.1	2.4
〃	4.7	3.9	10.1	2.5	6.0	12.6
〃	5.7	10.0	7.4	3.9	▲0.7	12.9
個人消費	▲64.7	▲78.0	▲62.5	▲31.7	3.1	14.2
*	▲24.5	▲46.8	▲11.8	14.2	137.7	30.2
〃	17.7	69.8	▲42.9	▲15.9	2.0	▲32.7
投資動向	2	2	3	0	5	3
*	309	183	165	0	256	92
企業倒産	1.4	▲0.3	1.8	0.6	1.7	1.7
〃	4.4	4.1	4.7	4.4	4.8	5.3
金融情勢	99.5	99.3	99.4	99.4	99.0	99.1
物価	69.3	82.7	83.1	86.9	98.3	96.5
その他	119.3	114.3	118.6	111.9	105.8	126.7

経済動向に関する他機関の公表資料(抜粋)

全国	<p>「1月例経済報告(内閣府)」平成29年5月24日</p> <p>景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人消費は、総じてみれば持ち直しの動きがみられる。 設備投資は、持ち直している。 輸出は、持ち直している。 生産は、持ち直している。 企業収益は、改善している。企業の業況判断は、改善している。 雇用情勢は、改善している。 消費者物価は、緩やかに上がっている。 <p>先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p>
中国地方	<p>「中国地域の経済動向(中国経済産業局)」平成29年5月11日</p> <p>～ 持ち直している</p> <p>中国地域の経済は、生産は持ち直しの動き、個人消費は緩やかな持ち直しの動き、雇用や設備投資に良い動きがみられる、持ち直している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 生産動向 … 持ち直しの動き 景況感 … 現状、先行きともに低下 個人消費 … 緩やかな持ち直しの動き 雇用・賃金 … 有効求人倍率は横ばい、賃金は減少 設備投資 … 前年度を上回る見込み 建設動向 … 公共工事は減少、住宅建設は増加 企業倒産 … 件数、負債額ともに増加 貿易 … 輸出、輸入ともに増加
山陰地方	<p>「山陰の金融経済動向(日本銀行松江支店)」2017年5月10日</p> <p>山陰の景気は、基調としては緩やかな回復を続けている。最終需要を見ると、個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、全体としては堅く推移している。住宅投資は、持ち直しの動きが一層している。設備投資は、企業収益が高めの水準で推移するも、増加基調にある。公共投資は、持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、全体としては堅く推移している。 住宅投資は、持ち直しの動きが一層している。 設備投資は、企業収益が高めの水準で推移するも、増加基調にある。 公共投資は、持ち直している。 生産は、高水準で推移している。 雇用・所得環境は、着実に改善している。
島根県	<p>「山陰経済動向(山陰経済経営研究所)」2017年4月28日</p> <p>生産活動が一進一退で推移し、設備投資の増勢も一時ではないものの、個人消費の一部では持ち直しの動きもみられ、雇用情勢が改善傾向にあるなど、基調としては緩やかに持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共投資は、持ち直しの動きがみられる。 設備投資は、2016年度は前年度を上回る見込みであり、2017年度は一転して前年度を下回る計画(企業動向調査3月の全産業設備投資額は、2016年度見込み前年度比53.2%増、2017年度計画同26.7%減)。 住宅建設は、持ち直しの動きに陰りに陰りがみられる。 個人消費は、一部では持ち直しの動きもみられる。 生産は、業種間での好不調の差などによる振れがみられるものの、総じて幅広い圏内で推移している。 雇用情勢は、緩やかに改善している。 企業の業況判断は、足元(2016年下期)、製造業、非製造業ともに改善し、全産業でも改善となった(▲12.2→▲5.2)。先行き(2017年度上期)は、製造業が改善、非製造業が悪化を見込んでおり、全産業で悪化の見通し(企業動向調査3月)。 <p>「島根県の経済情勢(財務省松江財務事務所)」平成29年4月26日(四半期ごと)公表</p> <p>県内経済は、緩やかに持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人消費 持ち直しの動きが続いている 生産活動 緩やかに回復しつつある 雇用情勢 改善しており、人手不足感が広がっている 企業倒産 前年度を上回る 設備投資 28年度は増加見込み 企業収益 28年度は減益見込み

平成29年4月分 政策企画局統計調査課

一島根県の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、引き続き緩やかな持ち直しの動きとなっている。生産活動は振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は緩やかな改善の動きが続いている。個人消費は持ち直しの動きがみられる。投資動向は持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。

生産活動	↑	～持ち直しの動き～	鉱工業生産指数(季節調整済指数)は117.0で前月比2.4%低下し、前年比は▲0.3%と9か月ぶりに下つ持ち直した。生産活動は、振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。
雇用情勢	↑	～緩やかな改善の動き～	雇用面は、有効求人倍率は1.58倍で前月と同水準、新規求人数は▲4.3%と3か月ぶりに前年を下回った。所得面は、現金給与総額は0.7%と2か月連続で、まきまきで支給する給与は1.3%と3か月ぶりに前年を上回った。
個人消費	↑	～持ち直しの動き～	百貨店・スーパー販売額は3.7%と2か月連続で前年を上回った。ホームセンター販売額は▲2.6%と2か月連続で前年を下回り、家電大型専門店販売額は6.7%と2か月連続で前年を上回った。新車登録台数は15.8%と9か月連続で前年を上回った。
投資動向	↑	～持ち直しに弱い動き～	個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
企業倒産	↑	～倒産件数1件～	建設業工床面積(非居住用)は▲52.5%と3か月ぶりに、公共工事請負金額は▲45.8%と4か月ぶりに前年を下回り、新設住宅着工戸数は1.1%と2か月ぶりに前年を上回った。
金融情勢	↑	～貸出金残高は前年6.2%増～	投資動向は、持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。
物価	↑	～前年同月と同水準～	企業倒産件数は1件(小売業1件)
その他(参考)			銀行預金残高は5か月連続で前年を上回った。 銀行貸出金残高は80か月連続で前年を上回った。 消費寄与度(生鮮食品を除く総合指数)は99.5となり、前年同月と同水準となった。 C I 先行指数は99.1となり、2か月ぶりに上昇となった。 C I 一致指数は112.9となり、2か月ぶりに下落となった。 財務省松江財務事務所公表した現物(28年4～6月期)の景況判断B S 1は、▲2.8%ポイントと「下降」超幅が縮小している。 29年度の設備投資計画は、前年度比2.0%の増加見直しとなっている。(製造業▲26.5%、非製造業▲52.7%)

経済指標	前年同月比(%)				ただし*は除く。			
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
生産活動	118.4	116.8	116.6	118.2	119.9	117.0		
雇用情勢	1.51	1.52	1.53	1.54	1.58	1.58		
個人消費	19.7	7.4	▲6.4	14.8	10.7	▲4.3		
投資動向	0.0	0.4	2.4	▲4.6	0.9	3.7		
企業倒産	2	3	0	5	3	1		
金融情勢	▲0.3	1.8	0.6	1.7	1.7	1.7		
物価	4.1	4.7	4.4	4.8	5.3	6.2		
その他	82.7	83.1	86.9	98.3	96.5	99.1		
	114.3	118.6	111.9	105.8	126.6	112.9		

経済動向に関する他機関の公表資料(抜粋)

全国	「月例経済報告(内閣府)」平成29年6月22日 景気は、緩やかな回復基調が続いている。 個人消費は、緩やかに持ち直している。 設備投資は、持ち直している。 輸出は、持ち直している。 生産は、持ち直している。 企業収益は、改善している。 雇用情勢は、改善している。 消費者物価は、緩ばいとなっている。 先行きについては、雇用、所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。
中国地方	「中国地域の経済動向(中国経済産業局)」平成29年6月8日 ～持ち直している～ 中国地域の経済は、生産は持ち直しの動き、個人消費は緩やかな持ち直しの動き、雇用や設備投資に良い動きがみられ、持ち直している。 1. 生産動向 …持ち直しの動き 2. 景況感 …現状は低下、先行きは上昇 3. 個人消費 …緩やかな持ち直しの動き 4. 雇用・賃金 …有効求人倍率は上昇、賃金は減少 5. 設備投資 …前年度を上回る見込み 6. 建設動向 …公共工事、住宅建設ともに上昇 7. 企業倒産 …件数、負債額ともに減少 8. 貿易 …輸出、輸入ともに増加
山陰地方	「山陰の金融経済動向(日本銀行松江支店)」2017年6月1日 山陰の景気は、基調としては緩やかな回復が続いている。最終需要をみると、個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、雇用・所得環境の改善を背景に、全体としては底堅く推移している。住宅投資は、持ち直しの動きが一服している。設備投資は、企業収益が高めの水準で推移するも、増加基調にある。公共投資は、持ち直している。個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、全体としては底堅く推移している。 住宅投資は、持ち直しの動きが一服している。 設備投資は、企業収益が高めの水準で推移するも、増加基調にある。 公共投資は、持ち直している。 生産は、高水準で推移している。 雇用・所得環境は、着実に改善している。
島根県	「山陰経済動向(山陰経済経営研究所)」2017年5月31日 生産活動が一進一退で推移し、設備投資の増勢も一様ではないものの、個人消費の一部では持ち直しの動きもみられ、雇用情勢が改善傾向にあるなど、基調としては緩やかに持ち直している。 公共投資は、持ち直しの動きがみられる。 設備投資は、2016年度は前年度を上回る見込みであり、2017年度は一転して前年度を下回る計画(企業動向調査3月の全産業設備投資額は、2016年度見込み対前年度比53.2%増、2017年度計画同26.7%減)。 住宅建設は、持ち直しの動きに陰りがみられる。 個人消費は、一部では持ち直しの動きもみられる。 生産は、海外景気の緩やかな回復や競争力の高さをなどを背景に一部では高水準の増勢がみられるもの、総じて緩ばい圏内に推移している。 雇用情勢は、引き続き改善している。 企業の景況判断は、足元(2016年下期)、製造業、非製造業ともに改善も改善となった(▲12.2→▲5.2)。先行き(2017年度上期)は、製造業が改善、非製造業が悪化を見込んでおり、全産業で悪化の見直し(企業動向調査3月)。 「島根県の経済情勢(財務省松江財務事務所)」平成29年4月26日(四半期ごと)に公表 県内経済は、緩やかに持ち直している。 個人消費 持ち直しの動きが続いている 生産活動 緩やかに回復しつつある 雇用情勢 改善しており、人手不足感が広がっている 公共事業 前年度を上回る 設備投資 28年度は増加見込み 企業収益 28年度は減見込み

島根県の経済動向

平成29年5月分

政策企画局統計調査課

一島根県の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、持ち直しの動きが続いている。生産活動は全体として持ち直しの動きが続いている。雇用情勢は改善の動きが続いている。個人消費は持ち直しの動きが続いている。投資動向は持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。

生産活動	⇨	～持ち直しの動き～
雇用情勢	⇨	～改善の動き～
個人消費	⇨	～持ち直しの動き～
投資動向	⇨	～持ち直しに弱い動き～
企業倒産	⇨	～倒産件数4件～
金融情勢	⇨	～貸出金残高は対前年5.6%増～
物価	⇨	～対前年0.1%上昇～

島根県景気動向指数(CI)
(平成29年8月公表)
法人企業景気予測調査結果
(平成29年6月13日公表)

経済指標	前年同月比 (%)				
	12月	1月	2月	3月	4月
* 鉱工業生産指数(季節調整済指数)	116.8	116.6	118.2	119.9	117.0
前月比	▲1.4	▲0.2	1.4	▲2.4	0.9
前年同月比	3.0	4.3	0.5	3.6	▲0.3
* 有効求人倍率(倍)	1.52	1.53	1.54	1.58	1.59
新規求人数	7.4	▲6.4	14.8	10.7	▲4.3
常用労働者数	1.1	1.3	1.7	2.1	2.2
現金給与総額	6.4	0.0	▲1.8	0.1	0.7
きまって支給する給与	3.6	1.0	▲1.4	▲0.1	1.3
所定外労働時間(製造業)	▲10.8	▲1.0	▲12.5	▲5.5	2.4
百貨店・スーパー販売額	0.4	2.4	▲4.7	0.9	3.7
ホームセンター販売額	2.8	▲1.4	3.6	▲0.5	▲2.6
家電大型専門店販売額	▲2.4	▲4.4	▲1.1	2.4	6.7
乗用車新車登録台数	10.1	2.5	6.0	12.6	15.8
出雲空港利用者数	7.4	3.9	▲0.7	12.9	8.4
建築着工床面積(非居住用)	▲62.5	▲31.7	3.1	14.2	▲52.5
公共工事請負金額	▲11.8	14.2	137.7	30.2	▲45.8
新設住宅着工戸数	▲42.9	▲15.9	2.0	▲32.7	1.1
* 企業倒産件数(件)	3	0	5	3	1
* 負債総額(百万円)	165	0	256	92	94
銀行預金残高	1.8	0.6	1.7	1.7	1.7
銀行貸出金残高	4.7	4.4	4.8	5.3	6.2
* 消費着物価指数(生鮮食品を除く総合)	99.4	99.4	99.0	99.1	99.5
* 景気動向指数(CI先行指数)	83.1	86.9	98.3	96.5	99.1
* 景気動向指数(CI一致指数)	118.6	111.9	105.8	126.6	112.9

経済動向に関する他機関の公表資料(抜粋)

全国	「月例経済報告(内閣府)」平成29年7月19日 景気は、緩やかな回復基調が続いている。 個人消費は、緩やかに持ち直している。 設備投資は、持ち直している。 輸出は、持ち直している。 生産は、持ち直している。 企業収益は、改善している。 雇用情勢は、改善している。 消費者物価は、横ばいとなっている。 先行きについては、雇用、所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。
中国地方	「中国地域の経済動向(中国経済産業局)」平成29年7月11日 ～緩やかな持ち直しの動き～ 中国地域の経済は、生産は弱含みであるものの、個人消費は緩やかな持ち直しの動き、雇用や設備投資に良い動きがみられるなど総やかな持ち直しの動きとなっている。 1. 生産動向 …弱含み 2. 景況感 …現状、先行きともに上昇 3. 個人消費 …緩やかな持ち直しの動き 4. 雇用・賃金 …有効求人倍率は横ばい、賃金は増加 5. 設備投資 …前年度を上回る見込み 6. 建設動向 …公共工事は減少、住宅建設は増加 7. 企業倒産 …件数、負債額ともに減少 8. 貿易 …輸出、輸入ともに増加
山陰地方	「山陰の金融経済動向(日本銀行松江支店)」2017年8月1日 山陰の景気は、緩やかな回復が続いている。最終需要をみると、個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、底堅い動きに振りがみられている。住宅投資は、高水準となっている。公共投資は、持ち直しの動きが一段している。設備投資は、企業収益が高めの水準で推移するも、増加している。こうした需要動向のもとで、生産は、緩やかな増加基調にある。 個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、底堅い動きに振りがみられている。 住宅投資は、高水準となっている。 設備投資は、企業収益が高めの水準で推移するも、増加している。 公共投資は、持ち直しの動きが一服している。 生産は、緩やかな増加基調にある。 雇用・所得環境は、着実に改善している。
島根県	「山陰経済動向(山陰経済経営研究所)」2017年7月31日 生産活動に持ち直しの動きがみられるなかで、設備投資の増勢は同様ではないものの、個人消費に耐久消費財を中心とした持ち直しの動きがみられ、雇用情勢が改善傾向にあるなど、基調としては緩やかに持ち直している。 公共投資は、持ち直しの動きがみられる。 設備投資は、2017年度は、非製造業で前年度を下回るものの、製造業では前年度を上回り、全産業でも前年度を上回る計画(日銀短観6月の全産業設備投資額は、2016年度実績対前年度比2.4%増、2017年度計画同6.1%増)。 住宅建設は、持ち直しの動きに鈍りがみられる。 個人消費は、耐久消費財では持ち直しの動きがみられる。 生産は、海外景気の緩やかな回復や競争力の高さを背景に一部では高水準の稼働が続く業種がみられ、総じて持ち直しの動きがうかがわれる。 雇用情勢は、引き続き改善している。 企業の業況判断は、定元、製造業は悪化したものの、非製造業では改善し、全産業でも改善となった(前回4→今回9)。先行きについては、製造業で横ばい、非製造業では悪化を見込んでおり、全産業では悪化の見通しとなっている(日銀短観6月調査)。
島根県	「島根県の経済情勢(財務省松江財務事務所)」平成29年8月1日(四半期ごと)公表 県内経済は、持ち直している。 個人消費 緩やかに持ち直している 生産活動 緩やかに回復しつつある 雇用情勢 改善しており、人手不足感が広がっている 公共事業 前年度を下回る 設備投資 平成29年度は前年度を上回る見通し 企業収益 平成29年度は増益見通し

島根県の経済動向

平成29年6月分

政策企画局統計調査課

一島根県の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、持ち直しの動きが続いている。生産活動は全体として持ち直しの動きが続いている。雇用情勢は改善の動きが続いている。個人消費は持ち直しの動きが続いている。投資動向は持ち直しの動きが続いている。

生産活動	↑	～持ち直しの動き～	鉱工業生産指数(季節調整済指数)は122.0で前月比3.3%上昇し、前年比は6.0%と2か月連続で上回った。生産活動は、全体として持ち直しの動きが続いている。
雇用情勢	↑	～改善の動き～	雇用面は、有効求人倍率は1.66倍で前月を0.07ポイント上回り、新採用求人数は18.2%と2か月連続で前年を上回った。所得面は、現金給与総額は▲2.9%と4か月ぶりに前年を下回り、きまって支給する給与は前年と同水準となった。
個人消費	↑	～持ち直しの動き～	雇用面、所得面とも、改善の動きが続いている。百貨店・スーパー販売額は3.7%と4か月連続で前年を上回った。ホームセンター販売額は▲2.6%と4か月連続で、家電大型専門店販売額は▲7.0%と4か月ぶりに前年を下回った。新車登録台数は13.1%と11か月連続で前年を上回った。
投資動向	↑	～持ち直し～	個人消費は、持ち直しの動きが続いている。建設業工床面積(非居住用)は▲29.4%と3か月連続で前年を下回り、公共工事請負金額は35.2%と3か月ぶりに、新設住宅着工戸数は13.7%と3か月連続で前年を上回った。
企業倒産	↑	～倒産件数5件～	投資動向は、持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。
金融情勢	↑	～貸出金利高～	企業倒産件数は5件。(建設業2件、製造業2件、情報通信業1件)
物価	↑	～対前年0.2%上昇～	銀行預金残高は7か月連続で前年を上回った。銀行貸出金利高は82か月連続で前年を上回った。

その他 島根県景気動向指数(CI) (平成29年9月5日公表)
法人企業景気予測調査結果 (平成29年6月13日公表)

経済指標	前年同月比 (%)						ただし*は除く。
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
生産活動	116.6	118.2	119.9	117.0	118.1	122.0	
雇用情勢	▲0.2	1.4	▲2.4	▲0.9	3.3	6.0	
個人消費	1.53	1.54	1.58	1.58	1.59	1.66	
投資動向	▲6.4	14.8	10.7	▲4.3	18.1	18.2	
企業倒産	1.3	1.7	2.1	2.0	2.2	2.4	
金融情勢	0.0	▲1.8	0.1	0.7	1.3	▲2.9	
物価	1.0	▲1.4	▲0.1	1.3	0.2	0.0	
その他	▲1.0	▲12.5	▲5.5	2.4	▲1.0	▲2.4	
景気動向	2.4	▲4.6	0.9	3.7	3.0	▲3.7	
景気動向	▲1.4	3.7	0.5	▲2.6	▲0.0	▲2.6	
景気動向	▲4.4	▲1.1	2.4	6.7	5.1	▲7.0	
景気動向	2.5	6.0	12.6	15.8	8.8	13.1	
景気動向	3.9	▲0.7	12.9	8.4	12.0	14.3	
景気動向	▲31.7	3.1	14.2	▲52.5	▲40.2	▲29.4	
景気動向	14.2	137.7	30.2	▲45.8	▲14.5	35.2	
景気動向	▲15.9	2.0	▲32.7	1.1	7.9	13.7	
景気動向	0	256	92	94	645	214	
景気動向	0.6	1.7	1.7	1.7	1.8	1.2	
景気動向	4.4	4.8	5.3	6.2	5.6	5.6	
景気動向	99.4	99.0	99.1	99.5	99.8	99.8	
景気動向	86.9	98.3	96.5	99.1	97.7	98.2	
景気動向	111.9	105.8	126.6	112.9	110.2	121.5	

経済動向に関する他機関の公表資料(抜粋)

全 国	「月例経済報告(内閣府)」平成29年8月28日 景気は、緩やかな回復基調が続いている。 ・個人消費は、緩やかに持ち直している。 ・設備投資は、持ち直している。 ・輸出は、持ち直している。 ・生産は、持ち直している。 ・企業収益は、改善している。 ・雇用情勢は、改善している。 ・消費者物価は、横ばいとなっている。 先行きについては、雇用、所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。
中国地方	「中国地域の経済動向(中国経済産業局)」平成29年8月10日 ～持ち直している～ 中国地域の経済は、個人消費は緩やかな持ち直しの動き、雇用や設備投資に良い動きがみられ、持ち直している。 1. 生産動向 …横ばい 2. 景況感 …現状は横ばい、先行きは上昇 3. 個人消費 …緩やかな持ち直しの動き 4. 雇用・賃金 …有効求人倍率は上昇、賃金は増加 5. 設備投資 …前年度を上回る見込み 6. 建設動向 …公共工事、住宅建設ともに減少 7. 企業倒産 …件数は減少、負債額は増加 8. 貿易 …輸出、輸入ともに増加
山陰地方	「山陰の金融経済動向(日本銀行松江支店)」2017年9月1日 山陰の景気は、緩やかな回復を続けている。最終需要をみると、個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、底堅い動きが続いている。住宅投資は、水準を切り上げてきている。公共投資は、低水準ながらも持ち直している。設備投資は、企業収益が高めの水準で推移するも、増加している。こうした需要動向のもとで、生産は、緩やかな増加基調にある。 ・個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、底堅い動きが続いている。 ・設備投資は、水準を切り上げている。 ・公共投資は、低水準ながらも持ち直している。 ・生産は、緩やかな増加基調にある。 ・雇用・所得環境は、着実に改善している。
島根県	「山陰経済動向(山陰経済経営研究所)」2017年8月31日 生産活動に持ち直しの動きがみられるなかで、設備投資の増勢は同様ではないものの、個人消費に耐久消費財を中心とした持ち直しの動きがみられ、雇用情勢が改善傾向にあるなど、基調としては緩やかに持ち直している。 ・公共投資は、持ち直しの動きがみられる。 ・設備投資は、2017年度は、非製造業で前年度を下回るものの、製造業では前年度を上回り、全産業でも前年度を上回る計画(日銀短観6月の全産業設備投資額は、2016年度実績対前年度比2.4%増、2017年度計画同5.1%増)。 ・住宅建設は、持ち直しの動きがみられる。 ・個人消費は、耐久消費財では持ち直しの動きがみられる。 ・生産は、海外景気の緩やかな回復や競争力の高さを背景に一部では高水準の稼働が続く姿がみられ、総じて持ち直しの動きがみられる。 ・雇用情勢は、引き続き改善している。 ・企業の業務判断は、足元、製造業は悪化したものの、非製造業では改善し、全産業でも改善となった(前回4～今回の)。先行きについては、製造業で悪化を見込んでおり、全産業では悪化の見通しとなった(日銀短観6月調査)。
島根県	「島根県の経済情勢(財務省松江財務事務所)」平成29年8月1日(四半期ごと公表) 県内経済は、持ち直している。 ・個人消費 緩やかに持ち直している ・生産活動 緩やかに回復しつつある ・雇用情勢 改善しており、人手不足感が広がっている ・公共事業 前年度を下回る ・設備投資 平成29年度は前年度を上回る見通し ・企業収益 平成29年度は増益見通し